Creative Enzymes®

ネイティブ大腸菌ジアシルグリセロールキナーゼ

Cat. No. NATE-0181

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	ジアシルグリセロールキナーゼ（DGKまたはDAGK）は、ジアシルグリセロール（DAG）をリン脂肪酸（PA）に変換する反応を触媒する酵素のファミリーであり、ATPをリン酸の供給源として利用します。刺激されていない細胞では、DGKの活性は低く、DAGはグリセロホスホリピッドの生合成に使用されますが、ホスファイノシチド経路の受容体が活性化されると、DGKの活性が増加し、DAGからPAへの変換が促進されます。両方の脂質は、異なる細胞標的を持つ生理活性脂質シグナル伝達分子として機能すると考えられているため、DGKは重要な位置を占めており、一方の脂質のシグナルを終了させることでスイッチとして効果的に機能し、同時に別の脂質によるシグナルを活性化します。
用途	大腸菌由来のジアシルグリセロールキナーゼは、複数のストレス応答によるリン脂質合成のdgkAおよびplsB遺伝子の拮抗的調節を評価する研究に使用されました。また、大腸菌由来のジアシルグリセロールキナーゼは、プロテインキナーゼCdeltaの最初のシステインリッチドメインにおけるアルコール結合部位を特定する研究にも使用されました。
別名	ジアシルグリセロールキナーゼ; DGK; DAGK; EC 2.7.1.107; ジアシルグリセロールキナーゼ (ATP); sn-1,2-ジアシルグリセロールキナーゼ

製品情報

由来	E. coli
形態	サスペンション
***EC*番号**	EC 2.7.1.107
***CAS*登録番号**	60382-71-0
分子量	mol wt 13.7 kDa
緩衝液	25 mM ナトリウムリン酸バッファー、pH 7.0、20.0% グリセロール、1 mM DTT において、濁った膜懸濁液として供給されます。
代謝経路	グリセロリピド代謝、特定生物のバイオシステム；グリセロリピド代謝、保存されたバイオシステム；代謝経路、特定生物のバイオシステム
単位定義	1ユニットは、25°Cで1分あたり1.0 µmolのジアシルグリセロールをリン酸化します。

保管・発送情報

安定性	−70°C